

## IV. 識字・日本語教室調査

### 1. アンケート調査概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、本市における今後の日本語の学習環境の検討に向けた基礎データを得ることを目的に、実態やニーズについて把握するために実施した。

#### (2) 調査対象

本市に立地する大阪市の運営する識字・日本語教室、民間等が実施する日本語教室

#### (3) 調査方法

大阪市の運営する識字・日本語教室は大阪市を通じて配布、その他は郵送により調査票を配布し、いずれも郵送で回収した。

#### (4) 調査時期

令和3年11月16日(火)～12月10日(金)

#### (5) 回収状況

発送数	回収数	回収率
49件	47件	95.9%

#### (6) 調査結果の表示方法

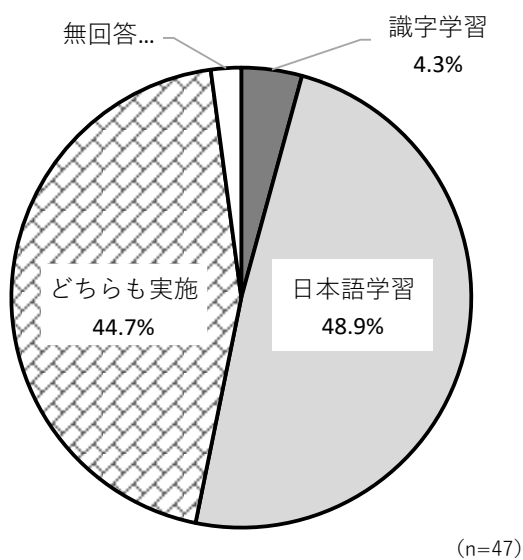
- ・ 設問ごとの集計母数はグラフ中に (n = ○○) と表記。
- ・ 集計結果の百分率 (%) は、小数点第2位を四捨五入した値を表記している。このため、回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めている。そのため、構成比率の合計は通常 100.0%とならない。

## 1. アンケート調査結果

### (1) 教室で実施している学習

教室で実施している学習は、「日本語学習」のみが 48.9%と最も高く、次いで「どちらも実施」が 44.7%となっている。

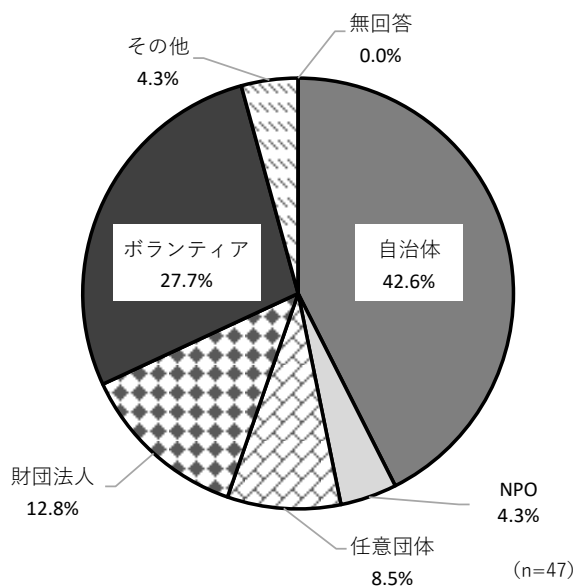
図表 54 教室で実施している学習



## (2) 教室の運営主体

教室の運営主体は、「自治体」が42.6%と最も高く、次いで「ボランティア」が27.7%となっている。

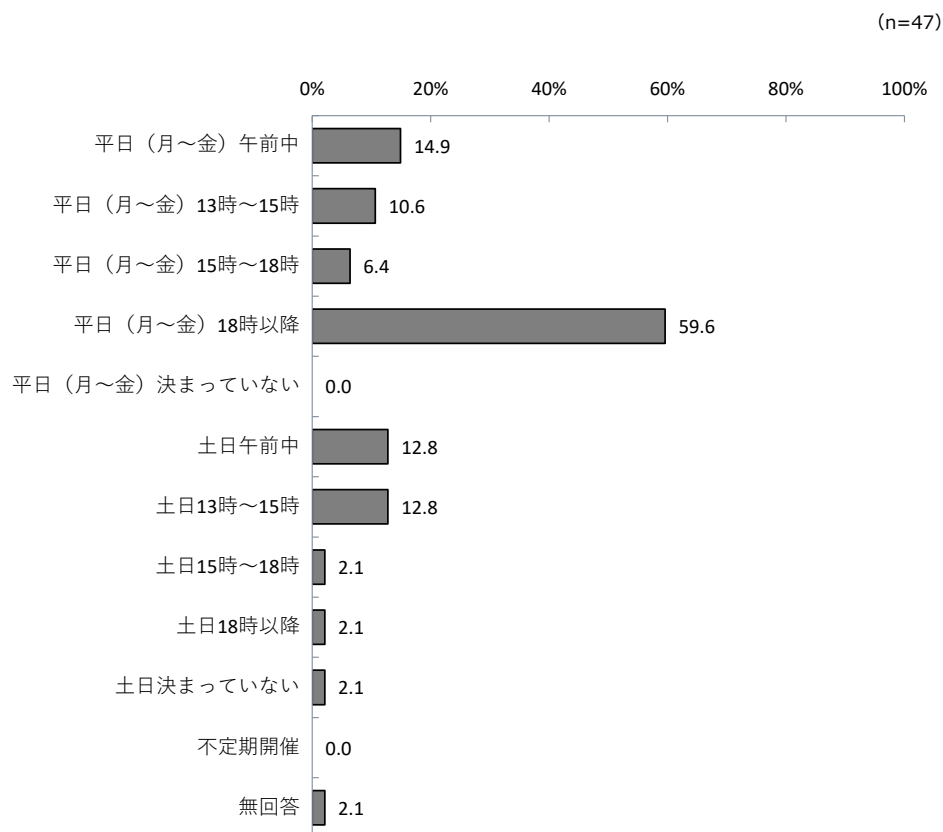
図表 55 教室の運営主体



### (3) 教室の開催日と時間帯

教室の開催日・時間帯は、「平日（月～金）18時以降」が59.6%と最も高くなっている。そのほかでは、「平日（月～金）午前中」が14.9%、「土日午前中」「土日13時～15時」がいずれも12.8%であった。

図表 56 教室の開催日・時間帯〔複数回答〕

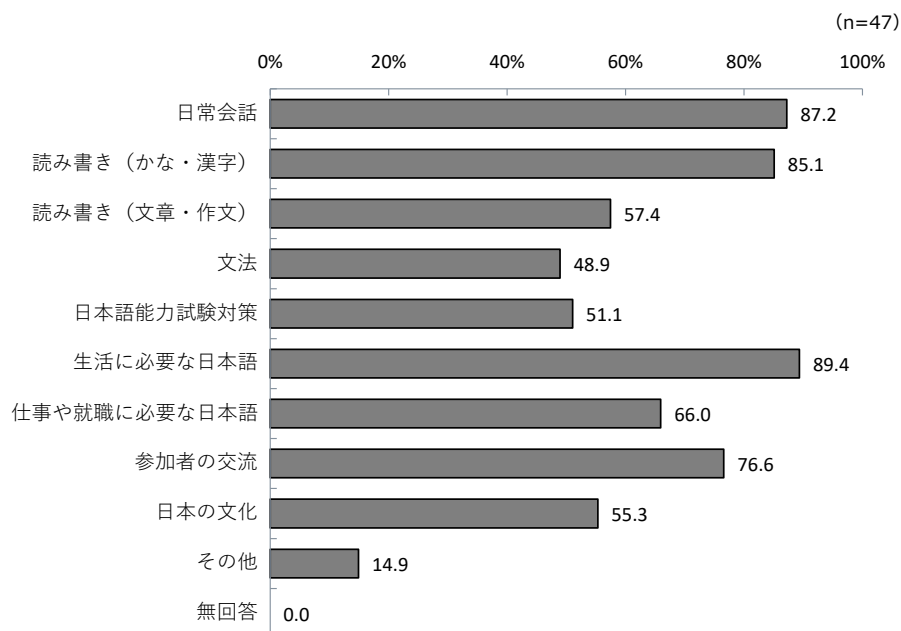


#### (4) 教室の学習内容

教室の学習内容は、「生活に必要な日本語」(89.4%)、「日常会話」(87.2%)、「読み書き(かな・漢字)」(85.1%)が高くなっている。

実施している学習別にみると、識字学習を行っている教室、識字・日本語学習どちらも実施している教室では、回答したすべての教室で「読み書き(かな・漢字)」を実施している。

図表 57 教室の学習内容〔複数回答〕



上段：件数、下段：%

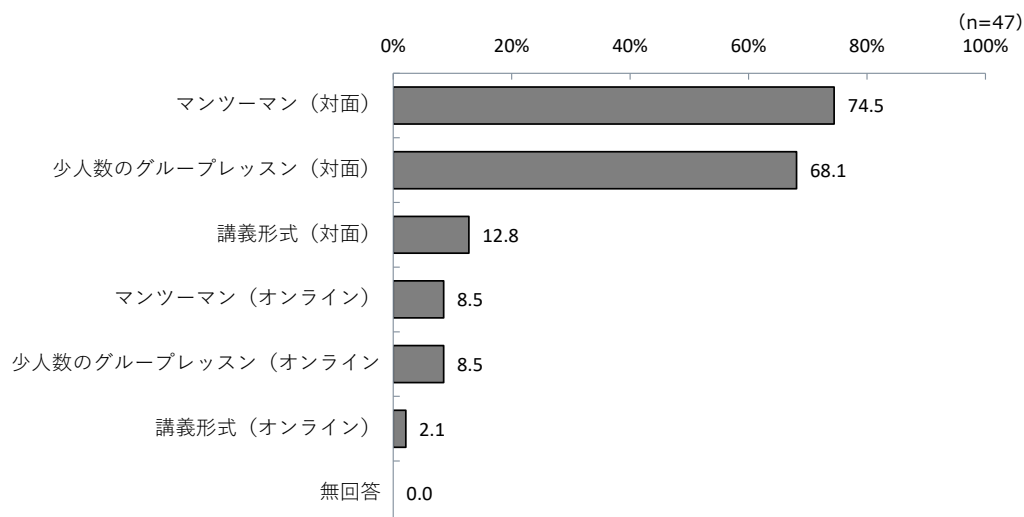
		回答数	日常会話	読み書き (かな・漢字)	読み書き (文章・作文)	文法	日本語能力 試験対策	生活に必要な 日本語	仕事や就職に 必要な日本語	参加者の交流
全体		47	41	40	27	23	24	42	31	36
		100.0	87.2	85.1	57.4	48.9	51.1	89.4	66.0	76.6
実施して いる学習	識字学習	2	1	2	2	0	1	1	0	2
		100.0	50.0	100.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	日本語学習	23	19	16	11	14	15	21	16	15
		100.0	82.6	69.6	47.8	60.9	65.2	91.3	69.6	65.2
	どちらも実施	21	20	21	14	9	8	19	15	18
		100.0	95.2	100.0	66.7	42.9	38.1	90.5	71.4	85.7

## (5) 教室での学習形態

教室の学習形態は、「マンツーマン（対面）」が74.5%と最も高く、次いで「少人数のグループレッスン（対面）」が68.1%となっている。

実施している学習別にみると、日本語学習のみを実施している教室の方が、オンラインで実施している割合が高くなっている。

図表 58 教室での学習形態〔複数回答〕



上段：件数、下段：%

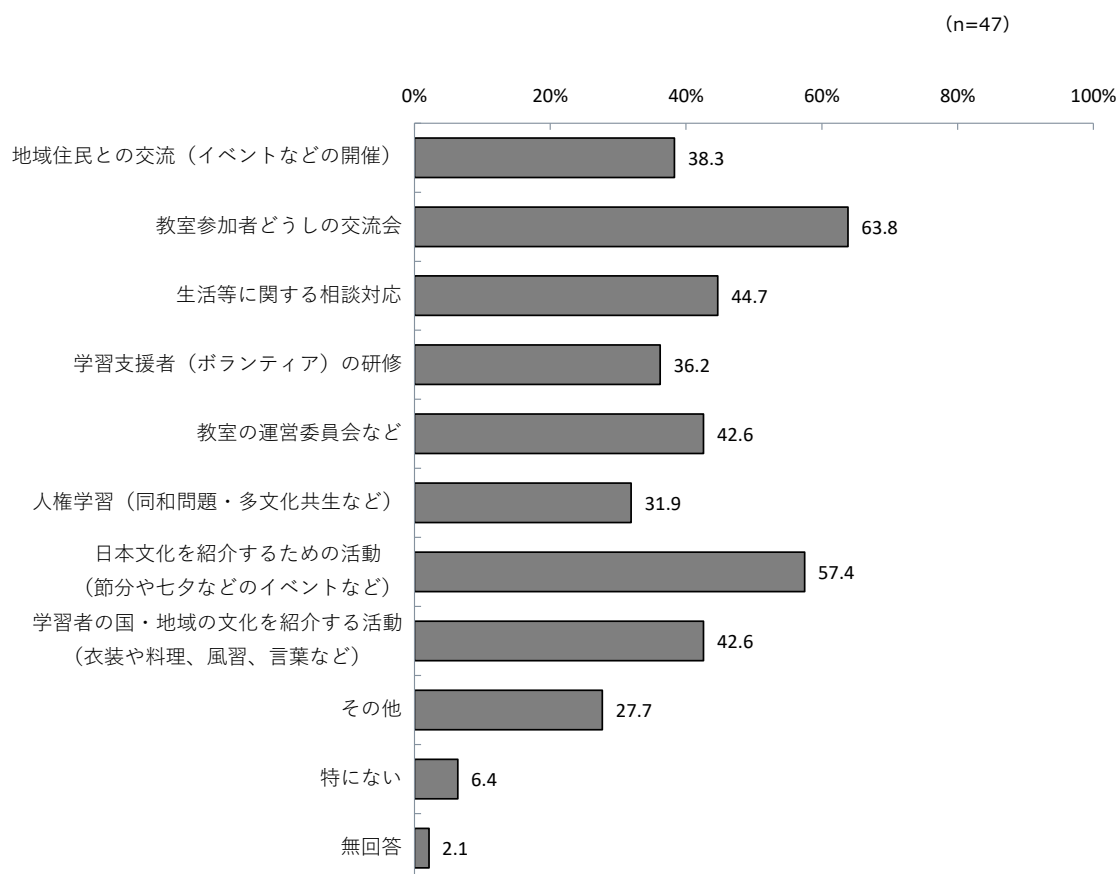
		合計	マンツーマン（対面）	少人数のグループレッスン（対面）	講義形式（対面）	マンツーマン（オンライン）	少人数のグループレッスン（オンライン）	講義形式（オンライン）	無回答
全体		47	35	32	6	4	4	1	0
		100.0	74.5	68.1	12.8	8.5	8.5	2.1	0.0
実施している学習	識字学習	2	1	1	1	0	0	0	0
		100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本語学習	23	17	13	3	4	3	1	0
		100.0	73.9	56.5	13.0	17.4	13.0	4.3	0.0
	どちらも実施	21	16	17	2	0	1	0	0
		100.0	76.2	81.0	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0

## (6) 過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動

過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動は、「教室参加者どうしの交流会」が63.8%と最も高く、次いで「日本文化を紹介するための活動（節分や七夕などのイベントなど）」が57.4%となっている。

実施している学習別にみると、識字学習を行っている教室、識字・日本語学習どちらも実施している教室では、日本語学習のみを実施している教室に比べて、「人権学習（同和問題・多文化共生など）」を実施する割合が高くなっている。

図表 59 過去3年程度において、教室で識字・日本語学習以外で実施した活動〔複数回答〕



### 〈その他〉

社会見学、防災学習、差別体験の共有 など

		回答数	地域住民との交流 (イベントなどの開催)	教室参加者どうしの交流会	生活等に関する相談対応	学習支援者(ボランティア)の研修	教室の運営委員会など	人権学習(同和問題・多文化共生など)	日本文化を紹介するための活動 (節分や七夕などのイベントなど)	学習者の国・地域の文化を紹介する活 動(衣装や料理、風習、言葉など)
全体		47 100.0	18 38.3	30 63.8	21 44.7	17 36.2	20 42.6	15 31.9	27 57.4	20 42.6
実施して いる学習	識字学習	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	日本語学習	23 100.0	8 34.8	17 73.9	10 43.5	6 26.1	7 30.4	4 17.4	14 60.9	9 39.1
	どちらも実施	21 100.0	9 42.9	12 57.1	8 38.1	9 42.9	13 61.9	9 42.9	11 52.4	10 47.6

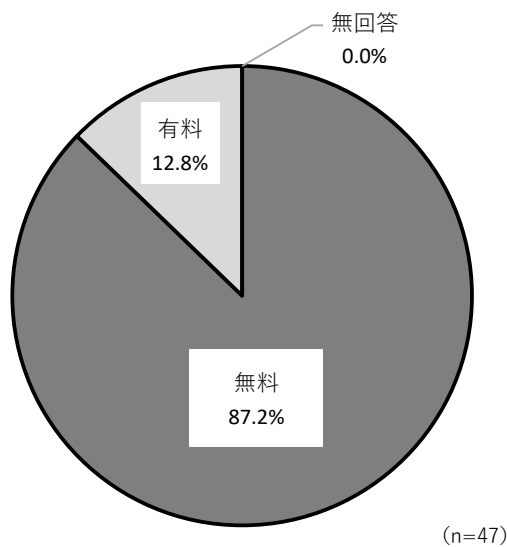
		回答数	その他	特 に な い	無 回 答
全体		47 100.0	13 27.7	3 6.4	1 2.1
実施して いる学習	識字学習	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	日本語学習	23 100.0	4 17.4	2 8.7	0 0.0
	どちらも実施	21 100.0	7 33.3	1 4.8	1 4.8



## (7) 教室の受講費用

教室の受講費用は、「無料」が87.2%とほとんどを占めている。

図表 60 教室の受講費用

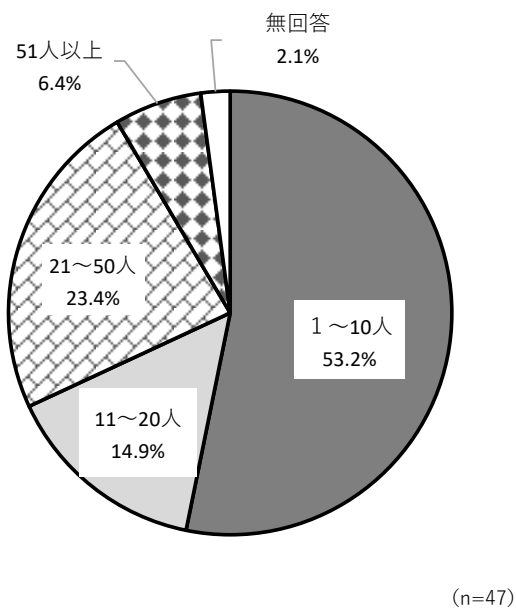


## (8) 現在、教室に在籍している学習者について

### ① 学習者数の合計

学習者数は、「1～10人」が53.2%と最も高く、次いで、「21～50人」が23.4%となっている。平均は、20.4人である。

図表 61 学習者数の合計



## ② 国籍別の人数

国籍別では、全体で中国が平均 6.62 人と最も高く、次いでベトナムが平均 3.36 人となっている。

実施している学習別では、識字を実施している教室では、ベトナムが平均で 6.50 人と最も多く、次いで日本が 5.50 人となっている。日本語学習のみを実施している教室では、中国が平均で 8.70 人と最も多く、次いでベトナムが 3.23 人となっている。どちらも実施している教室では、中国が 4.89 人と最も多く、次いで韓国・朝鮮が 3.90 人となっている。

図表 62 国籍別・実施している学習別の人数 (n=47)

国籍		識字 (n=2)	日本語学習 (n=23)	どちらも実施 (n=21)	無回答 (n=1)	合計
日本	合計 (人)	11	2	59	2	74
	平均 (人)	5.5	0.10	2.95	2.00	1.68
韓国・朝鮮	合計 (人)	0	29	78	1	108
	平均 (人)	0	1.32	3.90	1.00	2.40
中国	合計 (人)	3	200	93	2	298
	平均 (人)	1.5	8.70	4.89	2.00	6.62
ベトナム	合計 (人)	13	71	63	1	148
	平均 (人)	6.5	3.23	3.32	1.00	3.36
フィリピン	合計 (人)	0	59	15	0	74
	平均 (人)	0.00	2.57	0.79	0.00	1.64
ネパール	合計 (人)	0	11	10	0	21
	平均 (人)	0.00	0.48	0.53	0.00	0.47
アメリカ	合計 (人)	0	8	6	0	14
	平均 (人)	0.00	0.36	0.32	0.00	0.32
インドネシア	合計 (人)	0	11	5	0	16
	平均 (人)	0.00	0.50	0.25	0.00	0.36
タイ	合計 (人)	0	13	8	0	21
	平均 (人)	0.00	0.59	0.42	0.00	0.48
ブラジル	合計 (人)	0	7	0	0	7
	平均 (人)	0.00	0.32	0.00	0.00	0.16
インド	合計 (人)	0	4	8	0	12
	平均 (人)	0.00	0.18	0.42	0.00	0.27
その他	合計 (人)	0	67	65	1	133
	平均 (人)	0.00	2.91	3.42	1	2.96
不明	合計 (人)	0	11	1	0	12
	平均 (人)	0.00	0.48	0.05	0.00	0.26

※平均は無回答を除いている

### ③ 年齢別の人数

年齢別では、全体で 30 代が平均 5.49 人と最も高く、次いで 20 代が平均 3.91 人、60 代以上が平均 3.39 人となっている。ただし、年齢が不明の人数も多い。

実施している学習別では、識字を実施している教室では、20 代が平均で 6.00 人と最も多く、次いで 30 代が 4.00 人となっている。日本語学習のみを実施している教室では、30 代が平均で 6.45 人と最も多く、次いで 20 代が 4.14 人となっている。どちらも実施している教室では、60 代以上が 6.42 人と最も多く、次いで 30 代が 4.38 人となっている。

図表 63 年齢別・実施している学習別の人数 (n=47)

年齢		識字 (n=2)	日本語学習 (n=23)	どちらも実施 (n=21)	無回答 (n=1)	合計
16 歳未満	合計 (人)	0	54	6	0	60
	平均 (人)	0.00	2.70	0.33	0.00	1.46
16~19 歳	合計 (人)	0	18	2	0	20
	平均 (人)	0.00	0.90	0.12	0.00	0.50
20 代	合計 (人)	12	91	65	0	168
	平均 (人)	6.00	4.14	3.61	0.00	3.91
30 代	合計 (人)	8	142	70	5	225
	平均 (人)	4.00	6.45	4.38	5.00	5.49
40 代	合計 (人)	0	77	37	1	115
	平均 (人)	0.00	3.67	2.31	1.00	2.88
50 代	合計 (人)	0	18	26	0	44
	平均 (人)	0.00	0.90	1.73	0.00	1.16
60 代以上	合計 (人)	7	10	121	1	139
	平均 (人)	3.50	0.50	6.72	1.00	3.39
不明	合計 (人)	0	84	73	0	157
	平均 (人)	0.00	3.65	3.84	0.00	3.49

※平均は無回答を除いている

#### ④ 在留資格別の人数

在留資格別では、全体で在留資格が不明、その他である人数が多いが、それ以外では技能実習が平均 3.26 人と最も高く、次いで日本人が平均 3.00 人となっている。

実施している学習別では、識字を実施している教室では、日本人が平均で 5.50 人と最も多く、次いで技能実習が 4.00 人となっている。日本語学習のみを実施している教室では、その他、不明が多いが、それ以外では技能実習が平均で 4.50 人と最も多い。どちらも実施している教室では、不明が多いが、それ以外では、日本人が 4.20 人となっている。

図表 64 在留資格別・実施している学習別の人数 (n=47)

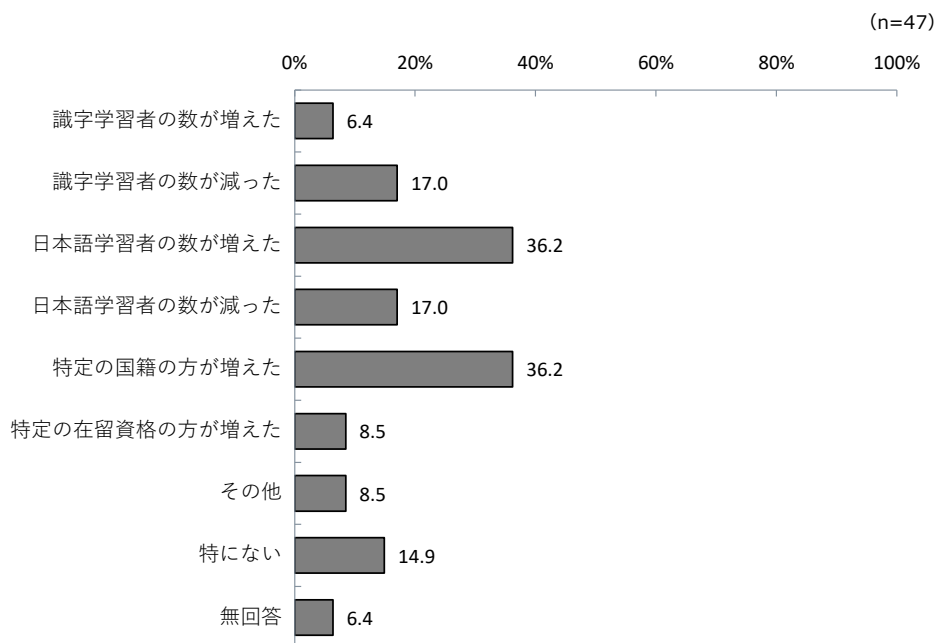
在留資格		識字 (n=2)	日本語学習 (n=23)	どちらも実施 (n=21)	無回答 (n=1)	合計
日本人	合計 (人)	11	4	42	0	57
	平均 (人)	5.50	0.57	4.20	0.00	3.00
特別永住者	合計 (人)	0	2	0	0	2
	平均 (人)	0.00	0.33	0.00	0.00	0.15
留学	合計 (人)	1	5	5	0	11
	平均 (人)	0.50	0.83	0.71	0.00	0.73
技能実習	合計 (人)	8	45	9	0	62
	平均 (人)	4.00	4.50	1.29	0.00	3.26
定住者	合計 (人)	0	30	13	0	43
	平均 (人)	0.00	3.00	1.86	0.00	2.26
日本人の 配偶者等	合計 (人)	0	35	8	0	43
	平均 (人)	0.00	3.50	0.89	0.00	2.05
家族滞在	合計 (人)	2	11	7	0	20
	平均 (人)	1.00	1.57	1.17	0.00	1.33
技術・人文知 識・国際業務	合計 (人)	5	3	3	0	11
	平均 (人)	2.50	0.50	0.50	0.00	0.79
特定技能	合計 (人)	0	10	1	0	11
	平均 (人)	0.00	1.43	0.20	0.00	0.79
技能	合計 (人)	0	7	0	0	7
	平均 (人)	0.00	1.17	0.00	0.00	0.54
特定活動	合計 (人)	0	2	0	0	2
	平均 (人)	0.00	0.33	0.00	0.00	0.15
永住者の 配偶者等	合計 (人)	0	2	3	0	5
	平均 (人)	0.00	0.33	0.50	0.00	0.36
その他	合計 (人)	0	86	3	0	89
	平均 (人)	0.00	14.33	0.50	0.00	6.36
不明	合計 (人)	0	176	240	7	423
	平均 (人)	0.00	9.78	16.00	7.00	11.75

※平均は無回答を除いている

## (9) ここ5年程度において、教室に参加する学習者の変化

ここ5年程度において、教室に参加する学習者の変化をみると、「日本語学習者の数が増えた」、「特定の国籍の方が増えた」がいずれも36.2%と高くなっている。

図表 65 ここ5年程度において、教室に参加する学習者の変化〔複数回答〕



〈増えた学習者の国籍〉

中国、ベトナム、ネパール、インドネシア、モンゴル、フィリピン

〈増えた在留資格〉

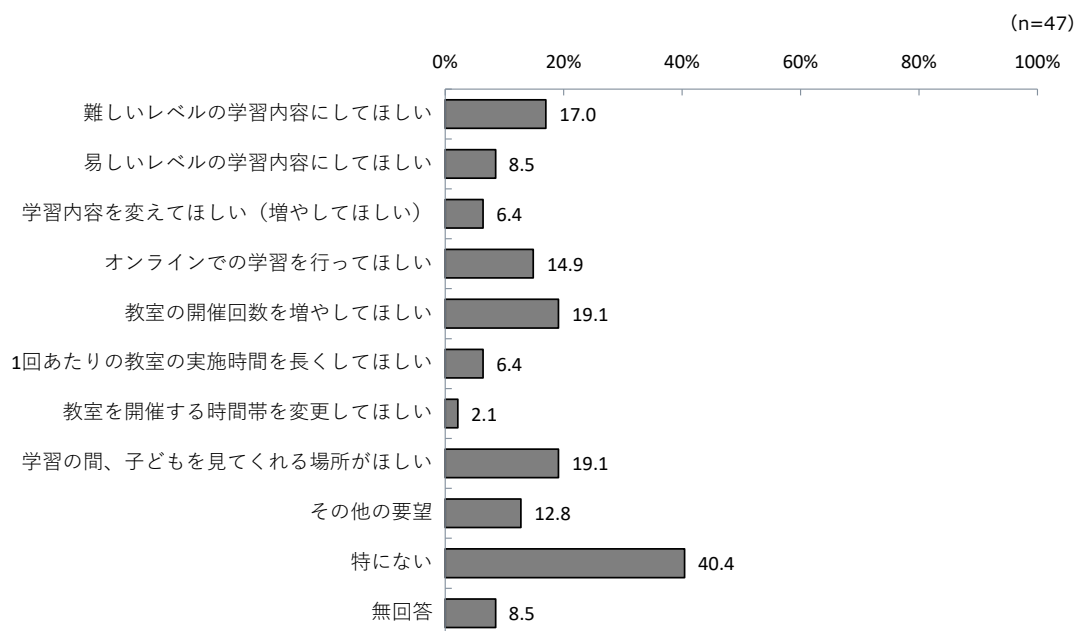
特定技能、技能実習、ビジネス関係者とその家族

## (10) 教室に通う学習者からの要望

教室に通う学習者からの要望は、「特にない」が40.4%と最も高くなっている。それ以外では、「教室の回数を増やしてほしい」(19.1%)、「学習の間、子どもを見てくれる場所がほしい」(19.1%)、「難しいレベルの学習内容にしてほしい」(17.0%)が高くなっている。

実施している学習別にみると、日本語学習のみを実施している教室の方が「学習の間、子どもを見てくれる場所がほしい」の割合がやや高い。

図表 66 教室に通う学習者からの要望〔複数回答〕



### 〈その他〉

- ・オンライン実施だが、対面希望の学習者もいる
- ・広い場所での実施を希望
- ・日本語検定試験の学習がしたい
- ・テキストの種類、数を増やしてほしい
- ・漢字の学習希望者が増加
- ・日々のこと、悩み等を話し合いたい など

上段：件数、下段：%

		回答数	難しいレベルの学習内容にしてほしい	易しいレベルの学習内容にしてほしい	学習内容を変えてほしい(増やしてほしい)	オンラインでの学習を行ってほしい	教室の開催回数を増やしてほしい	一回あたりの教室の実施時間を長くしてほしい	教室を開催する時間帯を変更してほしい	学習の間、子どもを見てくれる場所がほしい
全体		47	8	4	3	7	9	3	1	9
		100.0	17.0	8.5	6.4	14.9	19.1	6.4	2.1	19.1
実施している学習	識字学習	2	0	0	0	1	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日本語学習	23	4	1	2	4	5	1	0	7
		100.0	17.4	4.3	8.7	17.4	21.7	4.3	0.0	30.4
	どちらも実施	21	4	3	1	2	4	2	1	2
		100.0	19.0	14.3	4.8	9.5	19.0	9.5	4.8	9.5

		回答数	その他の要望	特にない	無回答
全体		47	6	19	4
		100.0	12.8	40.4	8.5
実施している学習	識字学習	2	1	0	0
		100.0	50.0	0.0	0.0
	日本語学習	23	3	9	1
		100.0	13.0	39.1	4.3
	どちらも実施	21	2	9	3
		100.0	9.5	42.9	14.3

## (11) 学習支援者（ボランティア）の登録数および、活動人数

学習支援者（ボランティア）の登録人数は1教室の平均で13.8人、活動人数は1教室の平均で10.4人である。学習支援者（ボランティア）（活動人数）1人あたりの学習者数は、1教室の平均で1.7人となっている。

図表 67 学習支援者（ボランティア）の登録数および、活動人数規模別の教室の割合（n=47）  
 (%) (人)

	0人	1~5人	6~10人	11~20人	21人以上	無回答	平均
登録人数	4.3	19.1	29.8	21.3	19.1	6.4	13.8
活動人数	4.3	31.9	29.8	21.3	10.6	2.1	10.4

※平均は無回答を除いている

図表 68 学習支援者（ボランティア）（活動人数）1人あたりの学習者数別の教室の割合（n=47）  
 (%) (人)

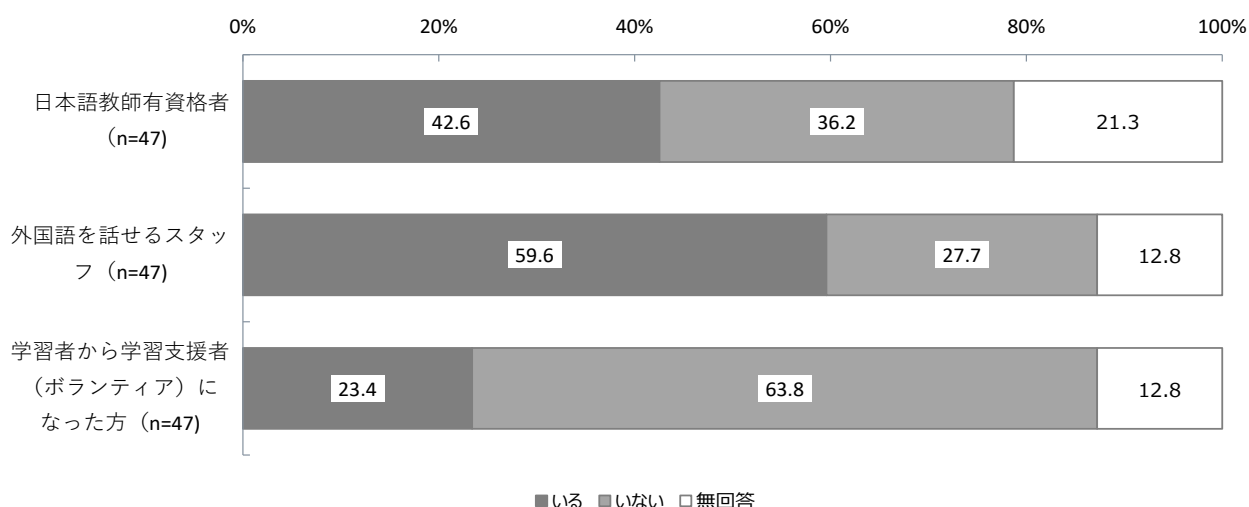
1人未満	1人~2人 未満	2人~3人 未満	3人以上	学習支援者 がいない	無回答	平均
21.3	38.3	21.3	12.8	4.3	2.1	1.7

※平均は無回答を除いている

## (12) 在籍している学習支援者について

日本語教師有資格者については「いる」が42.6%、外国語が話せるスタッフについては「いる」が59.6%、学習者から学習支援者になった方については「いる」が23.4%となっている。外国語が話せるスタッフがいる教室は約6割あるが、日本語教師有資格者がいる教室は半数を下回っている。

図表 69 在籍している学習支援者について





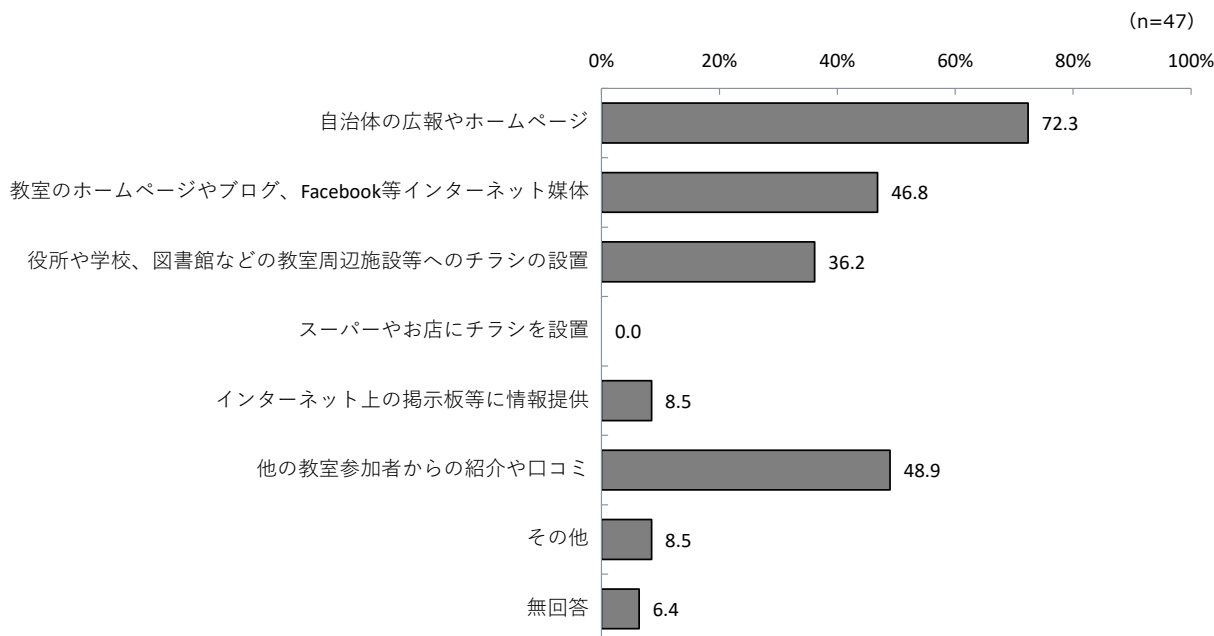
### (13) 学習者、および学習支援者（ボランティア）の募集方法

#### ① 学習者の募集方法

学習者の募集方法は、「自治体の広報やホームページ」が 72.3%と最も高くなっている。それ以外では、「他の教室参加者からの紹介や口コミ」(48.9%)、「教室のホームページやブログ、Facebook 等インターネット媒体」(46.8%)が高くなっている。

実施している学習別では、大きな違いはみられない。

図表 70 学習者の募集方法〔複数回答〕



〈その他〉

企業、学校・地域へのチラシの配布

上段：件数、下段：%

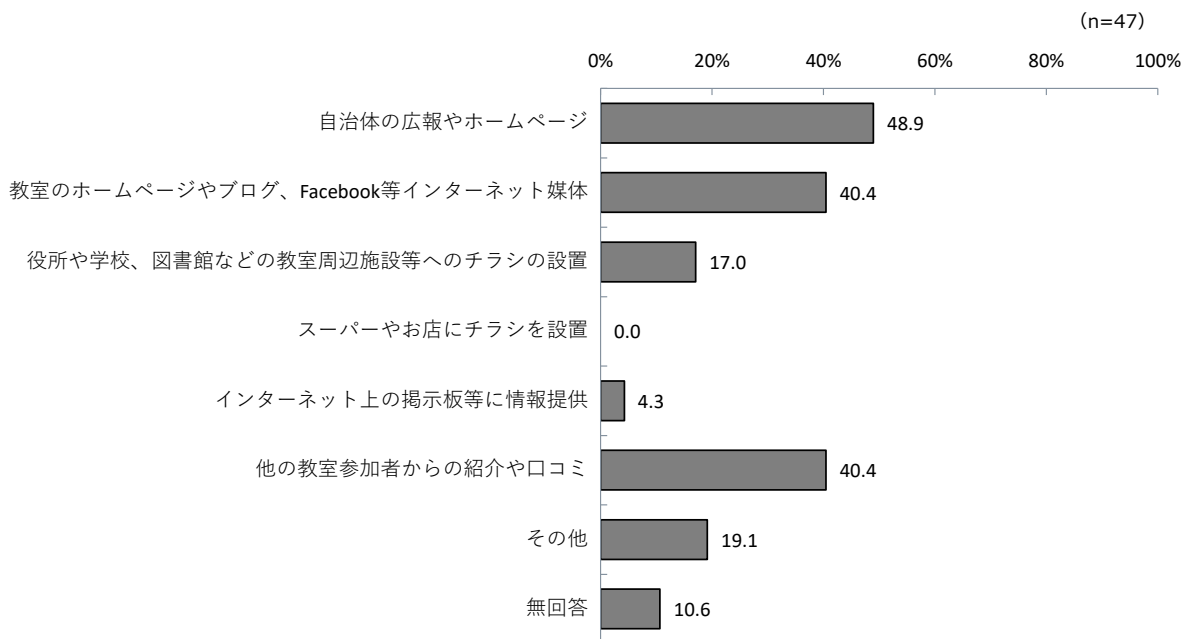
		回答数	自治体の広報やホームページ	媒体 ok等インターネット	教室のホームページや ブログ、Facebook	役所や学校、図書館な どの教室周辺施設等へ のチラシの設置	スーパーやお店にチ ラシを設置	インターネット上の掲 示板等に情報提供	他の教室参加者からの 紹介や口コミ	その他	無回答
全体		47	34	22	17	0	4	23	4	3	
		100.0	72.3	46.8	36.2	0.0	8.5	48.9	8.5	6.4	
実施して いる学習	識字学習	2	2	0	0	0	0	1	1	0	
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
	日本語学習	23	15	13	7	0	3	13	1	1	
		100.0	65.2	56.5	30.4	0.0	13.0	56.5	4.3	4.3	
	どちらも実施	21	16	9	10	0	1	9	2	2	
		100.0	76.2	42.9	47.6	0.0	4.8	42.9	9.5	9.5	

## ② 学習支援者（ボランティア）の募集方法

学習支援者の募集方法は、「自治体の広報やホームページ」が48.9%と最も高く、次いで、「教室のホームページやブログ、Facebook等インターネット媒体」、「他の教室参加者からの紹介や口コミ」がいずれも40.4%となっている。

実施している学習別にみると、識字・日本語学習どちらも実施している教室は、日本語学習のみを実施している教室に比べて、「自治体の広報やホームページ」、「役所や学校、図書館などの教室周辺施設等へのチラシの設置」の割合がやや高い。

図表 71 学習支援者（ボランティア）の募集方法〔複数回答〕



### 〈その他〉

- ・ ボランティア養成講座
- ・ ボランティア情報誌 COMVO
- ・ アイハウスボランティアバンク活動の紹介
- ・ 企業
- ・ 学校・地域へのチラシの配布

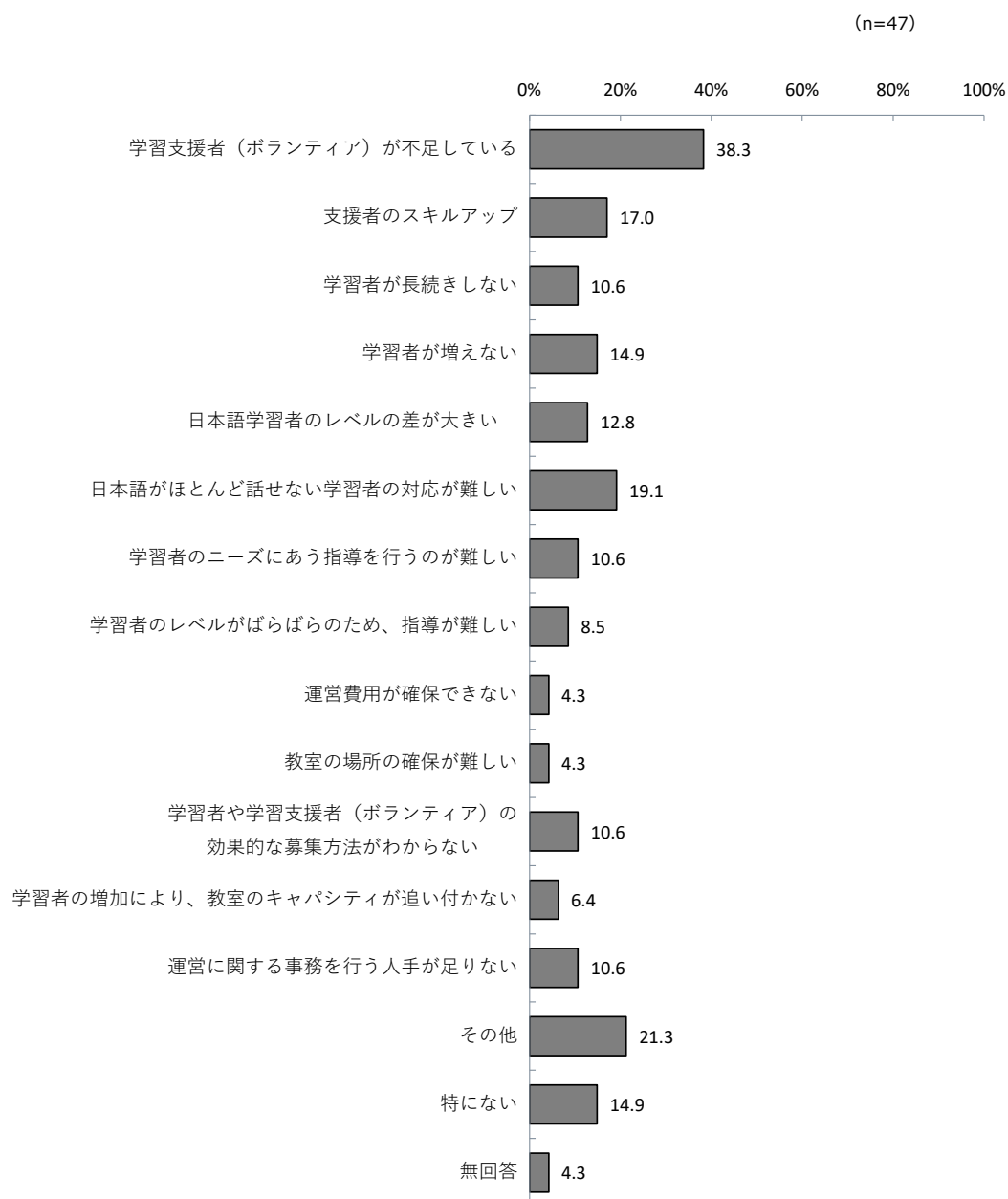
上段：件数、下段：%

		回答数	自治体の広報やホームページ	教室のホームページやブログ、Facebook等インターネット媒体	役所や学校、図書館などの教室周辺施設等へのチラシの設置	スーパーやお店にチラシを設置	インターネット上の掲示板等に情報提供	他の教室参加者からの紹介や口コミ	その他	無回答
全体		47	23	19	8	0	2	19	9	5
		100.0	48.9	40.4	17.0	0.0	4.3	40.4	19.1	10.6
実施している学習	識字学習	2	1	0	0	0	0	1	1	0
		100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	日本語学習	23	8	11	1	0	2	10	4	2
		100.0	34.8	47.8	4.3	0.0	8.7	43.5	17.4	8.7
	どちらも実施	21	13	8	7	0	0	8	4	3
		100.0	61.9	38.1	33.3	0.0	0.0	38.1	19.0	14.3

#### (14) 教室を運営するにあたり、困っていること

教室を運営するにあたり、困っていることは、「学習支援者（ボランティア）が不足している」が38.3%と最も高く、次いで「その他」が21.3%、「日本語がほとんど話せない学習者の対応が難しい」が19.1%となっている。

図表 72 教室を運営するにあたり、困っていること〔複数回答・3つまで〕



##### 〈その他〉

- ・ ボランティアの高齢化、新規ボランティアが定着しない
- ・ 人権問題や身近な困りごとについて支援者の考え方の違い
- ・ 小中高校生の指導ができる支援者の確保
- ・ 学習者が増えているため、講師料が助成金だけでまかなえない
- ・ 学習者の希望にそった教室開催の時間帯や回数に応えられていない

学習者数別にみると、1～10人、11～20人の教室では、「学習者が長続きしない」、「学習者が増えない」という課題が挙げられているが、一方で、21～50人では、「支援者のスキルアップ」や「教室の確保が難しい」、「学習者の増加により、教室のキャパシティが追い付かない」、「運営に関する事務を行う人手が足りない」などの課題が挙げられている。

上段：件数、下段：%

		回答数	学習支援者（ボランティア）が不足している	支援者のスキルアップ	学習者が長続きしない	学習者が増えない	日本語学習者のレベルの差が大きい	日本語がほとんど話せない学習者の対応が難しい	学習者のニーズにあう指導を行うのが難しい	学習者のレベルがばらばらのため、指導が難しい
全体		47	18	8	5	7	6	9	5	4
		100.0	38.3	17.0	10.6	14.9	12.8	19.1	10.6	8.5
学習者数	1～10人	25	8	3	4	5	3	4	3	1
		100.0	32.0	12.0	16.0	20.0	12.0	16.0	12.0	4.0
	11～20人	7	4	0	1	2	0	3	0	2
		100.0	57.1	0.0	14.3	28.6	0.0	42.9	0.0	28.6
	21～50人	11	5	4	0	0	2	0	0	0
		100.0	45.5	36.4	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0
	51人以上	3	1	1	0	0	1	2	2	1
		100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	66.7	33.3

		回答数	運営費用が確保できない	教室の場所の確保が難しい	学習者や学習支援者（ボランティア）の効果的な募集方法がわからない	学習者の増加により、教室のキャパシティが追い付かない	運営に関する事務を行う人手が足りない	その他	特になし	無回答
全体		47	2	2	5	3	5	10	7	2
		100.0	4.3	4.3	10.6	6.4	10.6	21.3	14.9	4.3
学習者数	1～10人	25	2	0	2	0	2	5	4	1
		100.0	8.0	0.0	8.0	0.0	8.0	20.0	16.0	4.0
	11～20人	7	0	0	2	0	0	3	1	0
		100.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0
	21～50人	11	0	2	1	3	3	2	2	0
		100.0	0.0	18.2	9.1	27.3	27.3	18.2	18.2	0.0
	51人以上	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(15) 困りごとに対して取り組んでいることや工夫していること

47 教室中 23 教室からの回答があり、主な回答は以下のとおりである。

カテゴリ		意見
取り組んでいること、工夫していること	学習者の募集	Facebook で絶えず呼びかけて参加者を募っている。教室へ来られた方はすべて受け入れ、新しく来た方を優先して対応できるようにしている。
	ボランティアの募集	月 1 回、ボランティア説明会の開催。
		学習支援者不足で他の任意団体（通訳、翻訳支援団体）より応援参加して頂いている。
		ボランティア確保のため、以前の学習者にも声かけをしている。
	日本語が話せない学習者への対応	日本語教師有資格者に対応してもらう。
		初級クラスの日本語教室を紹介し、学習終了後、本教室に入級してもらう。
	学習者の日本語レベルのばらつきへの対応	レベル別クラスを設定。
		日本語教師有資格者が文法や日本語能力試験受験者、初期の人を教え、無資格者が日常会話を担当している。
		グループ編成を融通させる。
		少人数でマンツーマンの学習を心がけている。
多様な学習者への対応	知的障がい者が参加しやすい全体ゲームや作品づくりを常に心がけている。	
	講師間で勉強会を実施。	
教師・ボランティアのスキルアップ	初級者に教える時の指導法やオンライン（zoom）の操作方法等、支援者のための研修を開催。	
	運営資金の獲得	助成金の獲得。

※1 教室から複数のカテゴリにまたがる意見がある場合は、それぞれのカテゴリに分類して掲載している。

(16) 教室において、コロナ禍で困っていること、工夫していること

47 教室中 33 教室からの回答があり、主な回答は以下のとおりである。

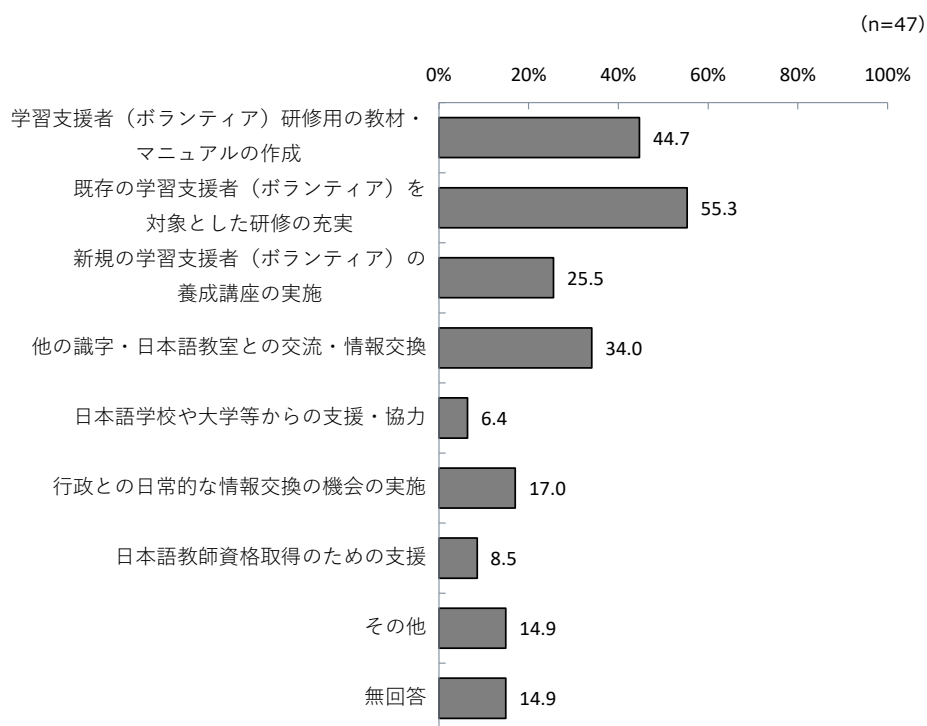
カテゴリ		意見
困っていること	学習者、ボランティアの減少	休講が長かったので、学習者が少なくなっていると思う。
		学習者が減ったまま増えない。
		学習者、ボランティアともに参加希望者が増えない。
	教室の運営方法の見直し・変更	計画を立てて教室を運営できない。
		以前のような学習方法や募集方法が不可能なので、どのように活動をしていくか考えている。
		予約せずに参加できるサロンであったが、今は事前申し込みが必要で人数を制限し、実施しているため、希望者全員の受入れが難しい。
		場所が使えなくなったらと思うと積極的な募集がかけられない。
学習方法の見直し	マンツーマン学習をやめた。	
ボランティア、学習者の交流	飲食ができなくなったので、クリスマスパーティなどの気楽な交流がしにくくなった。	
感染症対策の実施	教室が広くないので、人数が増えれば密になりやすい。	
	アクリル板を使用しているが、お互いの声が聞き取りにくい。	
工夫していること	オンライン授業	授業をオンラインでライブ配信。
		オンラインレッスンを実施。
		ライン（ビデオ）等で学習する。
		緊急事態宣言が発令されたらオンライン（Zoom）開催へと変更している。
		zoom 操作に詳しいボランティアが少ないため、zoom 操作の研修およびオンライン授業で使える教材、教え方を紹介する。
	コロナ対策	参加者の間隔を十分空けている。
		教室定員を減らす。
		換気、マスク、座席の距離、パーティションなど。
		検温、消毒、マスク着用。
	困りごとがないか確認	グループラインでの連絡。
学習者に生活上困難がないか連絡を取り合っている。必要であればパートナーが支援に行く。		
	講師と学習者ではがきを交換し日常を知らせ合う。電話を折々にかけて肉声を届ける（生活上で困っていることはないか）。	
その他	学習者に一定期間ごとにプリントを郵送。	

※1 教室から複数のカテゴリにまたがる意見がある場合は、それぞれのカテゴリに分類して掲載している。

## (17) 学習支援者（ボランティア）のスキルアップに向け、必要なこと

学習支援者のスキルアップに向け、必要なことについては、「既存の学習支援者（ボランティア）を対象とした研修の充実」が55.3%と最も高く、次いで、「学習支援者（ボランティア）研修用の教材・マニュアルの作成」が44.7%となっている。

図表 73 学習支援者（ボランティア）のスキルアップに向け、必要なこと〔複数回答〕

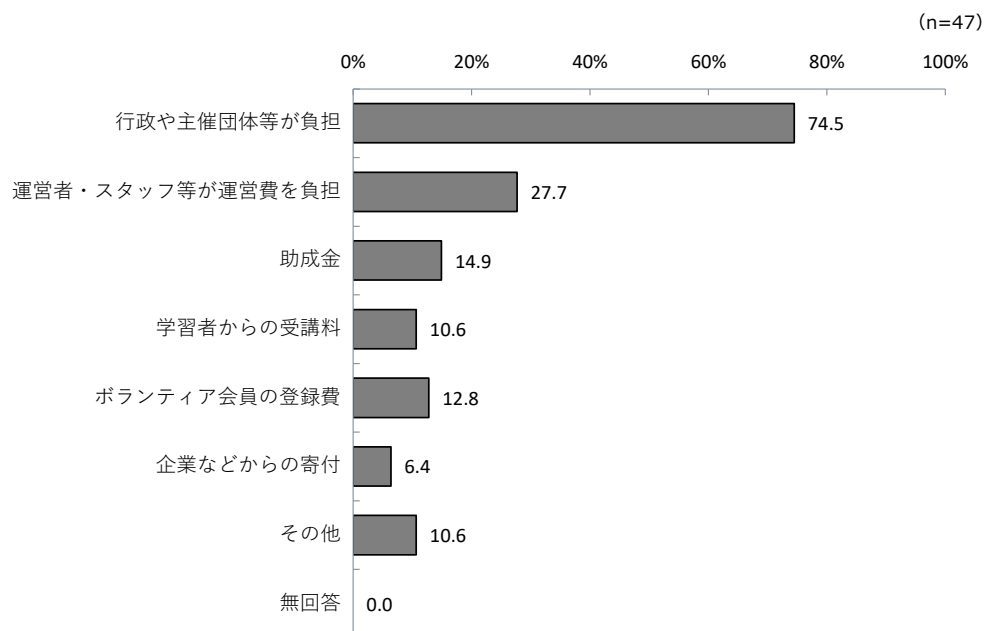




## (18) 教室の運営費の調達方法

教室の運営費の調達方法は、「行政や主催団体等が負担」が74.5%と最も高くなっている。

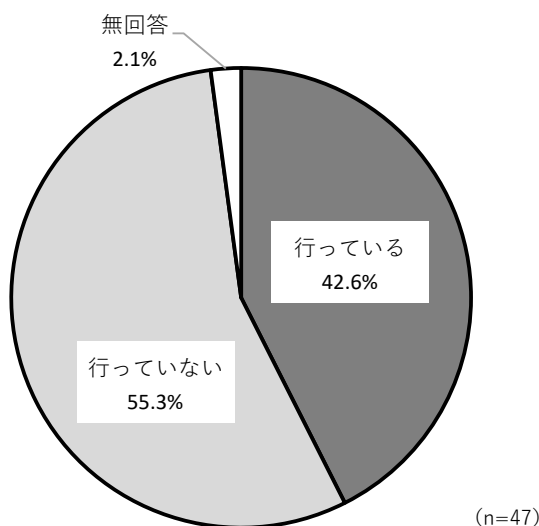
図表 74 教室の運営費の調達方法〔複数回答〕



(19) 他の識字・日本語教室や団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携や交流について

他の識字・日本語教室や団体との連携や交流については、「行っている」が42.6%と半数を下回っている。

図表 75 他の識字・日本語教室や団体（NPO、日本語学校、企業、地域活動など）との連携や交流について



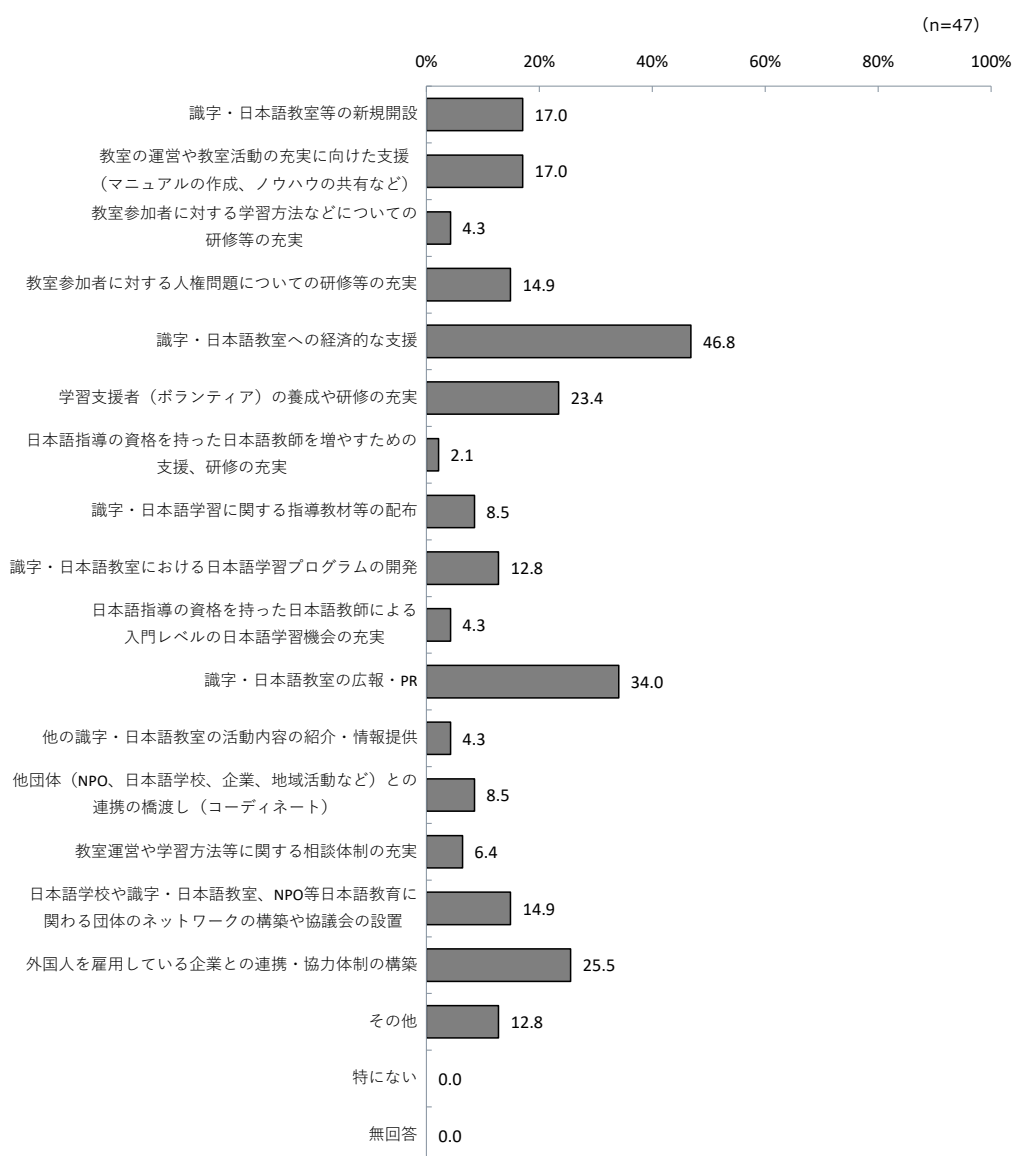
〈具体的な内容〉

- ・ 大阪市内識字・日本語教室連絡会への参加
- ・ よみかきこうりゅうかいへの参加
- ・ 区役所との防災研修（出前授業）
- ・ 大阪国際交流センター、生活相談や法律相談等
- ・ 大阪外国企業誘致センターとの連携
- ・ 地元の NPO と連携し、子育て、子どもたちの活動サポート、連絡会組織と連携
- ・ 子育てサロン、子ども食堂の実施団体
- ・ YMCA の日本語学校と交流・連携

## (20) 今後、識字・日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備

今後、識字・日本語教室の充実に向けて、行政が行うべき環境整備について、「識字・日本語教室への経済的な支援」が46.8%と最も高く、次いで「識字・日本語教室の広報・PR」が34.0%、「外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築」が25.5%となっている。

図表 76 今後、識字・日本語教育の充実に向けて、行政が行うべき環境整備〔複数回答・3つまで〕



### 〈その他〉

- ・大阪市の日本語教育における重点目標の設定と達成に向けたプロセスの明示
- ・識字推進計画などをつくり取り組みを進める。
- ・識字教室を必要としている人が多数いて、支援を必要としていることを教育委員会から文科省、国に強く訴えてほしい。
- ・有資格者が正当な報酬を得られる社会環境の整備
- ・学習場所のWi-Fi設置。
- ・常時利用できる会場と常駐のスタッフ。
- ・子どもに対する日本語、強化学習支援教室の新設。
- ・一時保育をする日本語教室の新設、または既存の教室で保育できるようにする。